

		評価項目・試験方法		路面消融雪施設設計要領 (以下、設計要領)		
				ケース①	ケース②	
応募を 求める 技術の 設計 条件	評価指標・特記事項を確認するための条件	公募要件	気温	0.0℃ 福井市(積雪地域)の気象	2.0℃ 横浜市の気象	
			設計熱量	150.0 W/m ²	60.0 W/m ²	
			融雪面積	過去の設置試験結果、工場での試験結果等より算出		
		熱源 (エネルギー)	温泉熱	50.0℃		
			都市廃熱	25.0℃		
			工場等温排熱	25.0℃		
			下水熱	9.0℃		
			発酵熱	35.0℃		
			ペレット	25.0℃		
			ゴミ焼却熱	25.0℃		
			地下水熱	13.0℃		
			地熱	15.0℃		
			太陽熱蓄熱温度	20.0℃		
			空気熱	0.0℃	2.0℃	
			海水熱	6.0℃		
			湖水熱	0.5℃		
			風力(電気)	7.0 m/s		
		太陽光(電気)	最適傾斜角における日射量1.6kW/m ² ・day			
		小型水力(電気)	1,000 kW以下			
		その他	応募者が設定し、その根拠資料を提出			
		地層	地層	砂質土		
		舗装構成	舗装構成	CO舗装(普通ポルトランドセメント)、AS舗装 プレキャスト製品含む		
		放熱管	純かぶり	5.0 cm以上		
			配置間隔	15.0 cm以上		
熱効率	0.9					
送水管	深度・延長	埋設深度0.6m 送水距離500m以下				
	温度低下量	送水温度20℃未満の場合0.2℃ 送水温度20℃以上の場合0.5℃				
評価指標	省 エ ネ ジ ー	融雪エネルギーの節約	A-1	評価項目	エネルギー消費効率	
				指標		
				評価	COP	COP
				試験方法	150.0 W/m ² の熱量を発生させる設定での定常運転	60.0 W/m ² の熱量を発生させる設定での定常運転
				測定方法	過去の設置試験結果、工場での試験結果等より算出する	
	評価方法	COP=融雪能力(kW)÷融雪消費電力(kW)				
	経 済 性	コスト比率(初期投資)	B-1	評価項目	イニシャルコスト	
				指標		
				評価	電熱線融雪施設との比較	
				条件	融雪熱量	150.0 W/m ²
融雪面積				1,000 m ²		
対象費用	工事費ベース					

			評価項目・試験方法		路面消融雪施設設計要領 (以下、設計要領)		
					ケース①	ケース②	
評価指標	経済性	コスト比率 (運転)	B-2	評価項目	指標	電気料金及びその他燃料費	
				評価	電熱線融雪施設との比較		
				条件	融雪熱量	150.0 W/m ²	60.0 W/m ²
					融雪面積	1,000 m ²	
					運転時間	100.0 h/月 北陸の運転時間	35.0 h/月
					対象費用	1ヶ月の電気料 従来 基本料金669.6円/kW × 150kW +電力量料金19.01円/kWh × 150kW × 100h =385,590円(東北電力融雪AⅡ)	1ヶ月の電気料 従来 基本料金669.6円/kW × 60kW +電力量料金19.01円/kWh × 60kW × 35h =80,097円(東北電力融雪AⅡ)
	経済性	コスト比率 (維持管理)	B-3	評価項目	指標	メンテナンスコスト	
				評価	電熱線融雪施設との比較		
				条件	融雪熱量	150.0 W/m ²	60.0 W/m ²
					融雪面積	1,000 m ²	
					運転時間	400 h/年 × 20年間 北陸の運転時間 × 更新年数	140 h/年 × 20年間
					対象費用	定期点検・補修費用	
工程	施工時における 通行規制期間	C-1	評価項目	指標	一般交通への影響 [現道上の連続した車道2車線(約1,000m ²)の標準施工日数]		
			評価	通行規制期間			
			条件	申請者からの資料より			
品質	屋外仕様の有 無	D-1	評価項目	指標	熱源設備、操作制御設備、電源設備の屋外での適応性		
			評価	屋外仕様の有無			
			試験方法	規格 申請者からの資料より			
施工性	道路の占有	E-1	評価項目	指標	熱源設備、操作制御設備、電源設備の占有面積		
			評価	面積(0m ² × 0ユニット)			
			条件	申請者からの図面より			
環境	熱源設備の騒 音	F-1	評価項目	指標	騒音		
			評価	音響パワーレベル			
			試験方法	規格 JISZ8733(音響-音圧法による騒音源の音響パワーレベルの測定方法- 反射面上の準自由音場における実用測定方法)			
先端 技術	先端技術等による 効果	G-1	評価項目	指標	先端技術等の使用による効果		
			評価	先端技術の使用による低コストで効果の高い技術の有無			
			条件	申請者からの資料より 操作・制御設備の概要から具体的機能を明示			
特記 事項	参考	参考-1	評価項目	指標	熱源設備の重量		
			評価	寸法、重量等を明示			
	その他	参考-2	評価項目	指標	融雪技術に関する独自の新技术		
			条件	申請者からの資料より具体的機能を明示			